

施策評価管理シート

2015(平成27)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
教育委員会事務局	高嶋 正広	63-7882 (学校教育室)

施策体系	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本施策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施 策	1	学校教育

1. 施策の基本方針 Plan

- ・教育内容の充実を図るとともに、安全で快適な教育環境を整備します。
- ・時代の変化に対応して国際理解教育、情報教育等の充実と、特色ある教育活動や学校運営を進め、魅力ある学校づくりに取り組みます。
- ・家庭、地域、学校が連携して、地域ぐるみで子どもの可能性を伸ばし豊かな人間性を育む教育など、地域に開かれた学校づくりを進めます。
- ・学校の校区編制、規模の適正化や適正配置を推進します。
- ・障害のある児童生徒が、その能力や可能性を最大限に伸ばす教育を推進します。

2. 目標

○重点目標 Plan

- ・教育振興基本計画「名張市子ども教育ビジョン」に基づき、「生きる力」をはぐくむ教育を推進し、特別な支援を必要とする子どもへの就学前から高校までの一貫した支援に取り組むとともに、教職員の資質向上のための研究・研修等、教育センター機能の拡充に取り組みます。
- ・学校施設については、災害等が発生した際の児童生徒の安全確保と被災直後の避難所としての機能を有していることから、校舎及び屋内運動場の耐震改修を平成27年度中に完了するよう取り組みます。
- ・国の動向や、名張市の第7次総合計画、総合教育会議での協議等を踏まえながら、新しい教育振興基本計画の策定を進めます。また、小中学校の規模・配置の適正化後期実施計画の策定を進めます。
- ・ボランティア・サロン、中学校区別コーディネーター研修会の開催や、家庭教育講座のスタッフを公民館やPTAからの要望に応じ派遣するなど、ボランティアによる組織的な学校支援、子育て支援、家庭教育の充実等の取組の拡大・充実を図ります。
- ・中学校における望ましい昼食のあり方について、検討します。

○目標達成に向けた課題 Plan

- ・超少子高齢化やグローバル化、情報化が、予想を超えるスピードで進展する中、子どもたち一人ひとりの成長や発達段階に応じて、基礎的・基本的な知識・技能に加えて、学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などを含めた幅広い学力を身に付けさせることが必要であり、そのための教職員の授業力の向上や教育環境整備が必要です。
- ・特別支援学級に在籍する児童生徒や発達障害を持つ児童生徒は増加傾向にあり、それぞれの教育的ニーズに応じて適切に支援を行う体制を確立するとともに、引き続き個別の指導計画に基づく支援を進める必要があります。
- ・家族形態の変容をはじめとして子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、子どもたちを健やかに育てるためには、学校、家庭及び地域等がそれぞれの役割と責任を自覚し、地域全体で教育に取り組む体制づくりを推進する必要があります。
- ・就学前教育は、生涯にわたる人格形成や義務教育の基礎を培うものであり、子ども・子育て支援新制度の趣旨を踏まえつつ、家庭教育を含めた幼児教育の質的向上に取り組むことが必要です。

<行政評価委員会からの意見>

意見なし

○施策指標 (目標) 及び達成状況 Plan Do

施策指標 (目標) の内容 (単位)		現状値 (H20)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	進捗率
小・中学校の教育環境に満足している市民の割合 (%)	目標	-	-	62.0	-	-	65.0	
	成果	59.2	60.2	59.4	60.8	59.3		2%
学校に満足している児童生徒の割合 (%)	目標	-	-	90.0	-	-	92.0	
	成果	88.1	89.6	89.5	89.5	91.0		74%
不登校児童生徒の割合 (%)	目標	-	-	1.4	-	-	1.1	
	成果	1.5	0.9	1.0	1.1	1.27		58%
支援の結果、登校できるようになった児童生徒の割合 (%)	目標	-	-	23.0	-	-	26.0	
	成果	15.0	33.3	10.4	35.7	39.2		100%
特別支援学級における個別の指導計画を作成している児童生徒の割合 (%)	目標	-	-	30.0	-	-	50.0	
	成果	27.0	99.4	100.0	99.0	100.0		100%

3. 取組内容

○課題解決への取組内容 **Do**

・国や県の調査に加え、市単独で実施学年をかえて学力調査や新体力テストを実施するとともに、「学力・体力調査活用検討委員会」を設置し、結果分析をもとに研究・研修を深め、指導方法の改善を進めました。また、学力・体力向上の取組成果を実践交流会等で情報共有し、課題解決に向けた各校の教育実践につなげました。

・市内全児童生徒に対して学級満足度調査を実施し、いじめ・不登校の未然防止・早期発見や学級の状況を把握し、改善していく取組を継続実施しました。

・小中学校に特別支援教育コーディネーター、チーフコーディネーターを配置するとともに、特別な支援が必要な児童生徒に有効な支援を行うために、「個別の指導計画」、「個別の教育支援計画」を作成し、途切れのない支援を行いました。また、支援を一層充実させるために、「パーソナルカルテ」を作成し、保護者が子どもの様子を関係機関につなぎやすいよう配慮しました。

・名張市教育センターにおいて、発達支援教室として「ばりっ子チャレンジ教室」、「ばりっ子わくわくキャンプ」を実施し、学校と連携して、社会性や行動面で困り感のある子どもや、特別な支援の必要な子どもへの支援を行うとともに、その成果を学校にフィードバックしました。また、保護者支援や保護者同士がつながりを持つ機会とできるよう取り組みました。

・名張市教育センターにおいて取り組んでいる学校支援ボランティア、研修講座（家庭教育連続講座、子育て支援研修会、コーディネーター養成講座など）の充実に取り組みました。

・薦原・箕曲・桔梗が丘・桔梗が丘東小学校、桔梗が丘中学校の校舎耐震補強及び美旗・桔梗が丘東小学校の屋内運動場耐震補強並びに大規模改修を完了しました。また、赤目中学校の校舎耐震改修については、平成26・27年度の2か年事業で工事を進めています。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>
意見なし

○地域等との連携、協働に向けた取組 **Do**

・学校生活支援ボランティアを募集・登録し、各学校における市民ボランティア活動の活性化を図りました。また、教育センターに学校ボランティア室を設置するとともに、学校とボランティアを結ぶチーフコーディネーターを配置し、ボランティアや地域コーディネーターの養成に取り組みました。

・自分の将来の生き方や進路について模索しはじめる中学生を対象にして、職場体験活動や職業講話を地域ぐるみで実施し、生徒の望ましい職業観、生徒の個性の伸長を図るなど、キャリア教育の充実に向けてきました。

・地域のゲストティーチャー、体験学習等を実施することによって、児童生徒の「生きる力」の育成と、学校と地域との連携に努めてきました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 50 事業)

Do **Check**

事務事業シート番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)		担当室による評価			部局による評価	
					事務事業の施策への貢献	地域づくり組織等との連携・協働	事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
1131	「総合的な学習」推進事業	学校教育室	804	711	A	実践している	継続(現行)	B	B
1132	ふるさと学習充実事業	学校教育室	754	0	A	該当しない	継続(現行)	B	A
1133	外国語活動実践研究事業	学校教育室	76	83	A	該当しない	継続(現行)	B	B
1134	学校支援ボランティア推進事業	教育センター	330	293	A	実践している	継続(拡大)	A	A
1135	学校図書館教育充実事業	教育センター	520	720	A	実践している	継続(拡大)	B	A
1139	学校保健事業	学務管理室	33,913	31,705	B	該当しない	継続(現行)	A	B
1142	基礎学力向上支援事業	学校教育室	1,765	1,249	A	該当しない	継続(現行)	A	A
1147	生徒指導充実推進事業	学校教育室	1,330	1,462	A	該当しない	継続(現行)	A	A
1149	特別支援教育体制整備事業	学校教育室	828	789	A	該当しない	継続(現行)	A	B
1153	小学校教育振興費(学務管理室)	学務管理室	1,301	1,293	B	該当しない	継続(拡大)	B	B
1154	小学校教育振興費(学校教育室)	学校教育室	1,728	1,390	A	検討している、今後可能性がある	継続(拡大)	A	B
1156	中学校教育振興費(学務管理室)	学務管理室	9,293	9,555	B	該当しない	継続(拡大)	B	B

1157	中学校教育振興費（学校教育室）	学校教育室	1,749	1,636	A	実践している	継続（現行）	A	B
1158	中学生地域ふれあい事業	学校教育室	880	840	A	検討している、今後可能性がある	継続（現行）	B	B
1189	教育フォーラム事業	教育総務室	0	628	B	実践している	継続（現行）	B	B
1267	校区再編推進事業	教育総務室	8,469	0	A	実践している	継続（現行）	A	B
1268	パーソナルカルテ推進事業	学校教育室	149	149	A	検討している、今後可能性がある	継続（現行）	B	B
1269	教育研究事業	教育センター	4,051	4,095	A	検討している、今後可能性がある	継続（拡大）	A	A
1272	道徳教育総合支援事業	学校教育室	485	240	A	検討している、今後可能性がある	H27完了予定	B	B
1407	確かな学力の育成に係る実践的調査研究事業	学校教育室	0	220	A	該当しない	H27完了予定	B	B
2155	小学校教育振興費（扶助費分）	学務管理室	33,923	34,450	B	該当しない	継続（現行）	B	B
2156	中学校教育振興費（扶助費分）	学務管理室	15,499	17,230	B	該当しない	継続（現行）	B	B
3068	奨学金支給事業（補助金含む）	学務管理室	8,300	9,501	B	該当しない	継続（改善）	—	—
3069	遠距離通学費補助金（小学校）	学務管理室	4,290	11,818	B	該当しない	継続（現行）	B	C
3071	遠距離通学費補助金（中学校）	学務管理室	9,059	9,325	B	該当しない	継続（現行）	B	C
3073	私立幼稚園子育て支援補助金	保育幼稚園室	2,000	2,000	B	該当しない	継続（現行）	B	C
3074	私立幼稚園就園奨励補助金（補助分）	保育幼稚園室	66,299	94,453	A	該当しない	継続（改善）	B	C
3075	私立幼稚園就園奨励補助金（単独分）	保育幼稚園室	1,971	1,481	B	該当しない	H26完了	B	C
4045	小学校耐震改修事業	学務管理室	460,360	892,494	A	該当しない	H27完了予定	A	A
4050	中学校耐震改修事業	学務管理室	—	324,604	A	該当しない	H27完了予定	A	A
5039	小学校管理費（学務管理室）	学務管理室	133,541	139,718	B	該当しない	継続（現行）	B	B
5040	中学校管理費（学務管理室）	学務管理室	43,910	52,400	B	該当しない	継続（現行）	B	B
5041	幼稚園管理費	保育幼稚園室	16,183	11,149	A	該当しない	継続（現行）	B	B
5101	教職員住宅管理費	学務管理室	229	449	—	該当しない	H26完了	—	—
5152	教育センター管理費	教育センター	9,830	12,356	A	該当しない	継続（現行）	A	B
6095	教育委員会一般経費	教育総務室	3,614	4,276	—	該当しない	継続（改善）	—	—
6097	事務局一般経費（教育総務室）	教育総務室	2,417	2,404	—	該当しない	継続（現行）	—	—
6098	事務局一般経費（学務管理室）	学務管理室	640	694	—	該当しない	継続（現行）	—	—
6099	事務局一般経費（学校教育室）	学校教育室	185	219	—	該当しない	継続（現行）	—	—
6101	教育振興一般経費（学校教育室）	学校教育室	2,715	2,735	A	検討している、今後可能性がある	継続（現行）	A	B
6104	小学校運営費	学務管理室	37,484	39,738	B	該当しない	継続（現行）	B	B
6105	小学校管理費（学校教育室）	学校教育室	1,306	1,103	B	該当しない	継続（現行）	B	C
6107	小学校給食費	学務管理室	80,359	84,854	B	該当しない	継続（現行）	B	B
6109	中学校運営費	学務管理室	20,216	23,247	B	該当しない	継続（現行）	B	B
6110	中学校管理費（学校教育室）	学校教育室	132	112	A	該当しない	継続（現行）	B	C
6113	幼稚園運営費	保育幼稚園室	2,766	2,449	A	該当しない	継続（現行）	A	B
6114	幼稚園運営費	学校教育室	0	0	A	該当しない	継続（現行）	B	B
6162	小中学校コンピュータ管理費	学校教育室	34,986	43,723	A	該当しない	継続（拡大）	A	B

6202	教科用図書採択業務	学校教育室	0	168	A	実践している	H27完了予定	B	C
7013-2	看護専門学校（病院事業会計）	看護専門学校（教務庶務室）	161,813	170,509	B	該当しない	継続（現行）	B	C
合計（単位：千円）			1,222,452	2,046,717					
小計（うち、一般会計分）			1,060,639	1,876,208					
小計（うち、特別会計・企業会計・組合会計分）			161,813	170,509					

5. 部局による施策評価

Check

評価	
計画どおり事業推進	
成果・評価理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・名張市子ども教育ビジョンに掲げた基本的な考え方（0歳から18歳までの育ちの連続性と、教育に関する社会全体の連携の強化、必要とされる教育水準を保障する仕組みづくり）に沿って、概ね順調に取り組んでいます。 ・小・中学校の教育環境に満足している市民の割合はわずかに低下したものの、学校に満足している児童生徒の割合はやや上昇しており、教育環境を整備する予算措置が厳しい中でも、一定の目標を達成できたと考えられます。不登校への対応については、小学校で微増し、中学校では減少傾向ではあるものの、小学校から中学校への移行期に増加する傾向があり、引き続き途切れのない支援が必要です。 ・特別支援教育にかかる取組については、コーディネーターの配置や児童生徒の個別の指導計画の作成等により、学校全体の特別支援教育の質の向上を図り、支援を必要とする子どもの育ちに合った系統的な支援を行いました。また、教育センターを拠点に、子ども発達支援センターや関係機関との連携を円滑に行い、特別な支援を必要とする子どもの育ちと学びをより総合的・継続的に支援する仕組みを構築しました。 ・名張市教育センターにおいて、開設から2年間で、研修講座の充実による教職員への支援がより進むとともに、週末支援事業、出前授業が定着し、発達支援教室を新設するなど、拡充を図ることができました。ボランティア室開設による地域と学校をつなぐ仕組みもでき、子育て支援のための講座も充実を図ることができました。 ・小中学校の校舎及び屋内運動場の耐震補強工事を計画的に実施し、災害に強い学校施設づくりを進めています。（平成27年3月末現在耐震化率 90.91%） 	

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

<ul style="list-style-type: none"> ・名張市子ども教育ビジョンに掲げる基本的な考え方に沿って、一人ひとりの子どもに教職員が向き合うための環境整備、子どもの育ちや学びに合った連続性・系統性のある教育の推進や、学校が地域コミュニティの核となって、多様な人々との協働を図り、様々な知恵・資源を学校に取り入れることができる仕組みの構築に向け、取組を進めています。 ・教育センターの5つの機能（子どもの育ち・学びへの支援、教育に関する調査・研究、教職員への支援、学校と地域の連携への支援、教育情報・資料の収集・提供）を充実させるとともに、研修講座の体系化、関係部局との連携を密にした研修講座の企画に努めます。また、家庭の教育力、地域の教育力向上のための研修のさらなる充実や、より多くの保護者支援の仕組みづくりを進めます。 ・小中学校の校舎及び屋内運動場の耐震化補強工事の平成27年度での完了に向け、事業を進め、児童生徒の安全の確保に努めます。完了後は、老朽施設設備の抜本的な整備が急務であることから、「長寿命化に向けた新たな計画」を策定するなどにより、緊急性・必要性の高いものから順に計画的に整備を進めます。
